

地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊。
市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特色を活かした産業の創出を図ります。

込み、デジタルと木工の融合で新しいものづくりの可能性を模索し、地域おこし協力隊の使命である「地域資源の活用と産業の創出」に取り組んできました。おかげさまで、色々な成果と可能性が見えてきたので、今後はヒダクマの社員として、広葉樹の価値化、組み木や木工の新しい形の模索に動しんで行く予定です。引き続き飛騨市でがんばりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。



都市部 海外への飛騨の魅力発信

隊員 森口 明子

飛騨市の皆様、こんにちは！

飛騨市地域おこし協力隊として飛騨古川で2年弱の間お世話になりました森口明子です。2015年6月、飛騨の神々しい山の存在や飛騨びとに惹かれて東京から移住しましたが、この3月をもちまして協力隊を卒業することになりました。

これまでの活動では、世界中から建築家やデザイナーなどを飛騨市に呼び

【外部の建築家やデザイナーを呼んで未活用の広葉樹を使った家具作り】

昨年末から今年の3月にかけてヒダクマでは、市と森林組合、市内の木工職人さんと一緒に、未利用の広葉樹を活用する取組を行いました。そのために都心から数組の建築家やデザイナーを招待し、市で広葉樹を扱う製材、木工房、家具メーカーなどを訪問し、市民の皆さんが使えるような家具のアイデアを出し合いました。それぞれのデザイナーが出揃い、飛騨の木工職人さんへお願いし、試作品が完成、3月20日のシンポジウムでお披露目しました。

これらは市に納品され、公共空間で活用される予定です。また、カナダから

デザイナーインレジデンスで2週間飛騨市に滞在していた Jon と Sean も木育の一環で彫刻のできるベンチを開発しました。ぜひ活用いただければ本人達も喜びます。

【6月 海外4大学の学生を迎え3週間のデザイン合宿開催】

昨年に引きつづき海外3大学と国内3大学、約30人が参加するデザイン合宿の第2弾を開催します。今年は5月28日から6月19日の約3週間、海外4大学と国内の学生が参加予定です。プログラムでは、林業、製材、木工、人工知能などについて、各分野の専門家から知見と技術を享受し、実験を繰り返して試作品を作ります。期間中はオープンなのでぜひお気軽にお立ち寄りいただき、得意なことを教えていただければ嬉しいですね。彼らの若い発想や、外からの視点が入ること、未来へ繋がる種が生まれると期待しています。

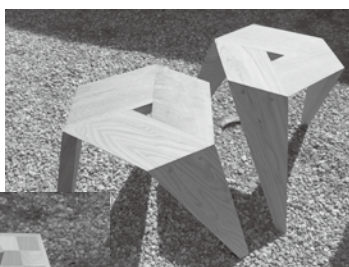
【最後に】

飛騨に移り住み、地域内外の活動を通じて見えてきた価値が多々あります。それは、飛騨市には多くの可能性の粒があること。広葉樹の森という資源

ーそれは、建築や木工製品やエネルギーに、美味しい水や林産物が採れ、森自体は憩いの遊び場となります。

そして木工―飛騨の匠の技術は世界に誇れるものですが、活用してこそ受け継がれていくものです。伝統の知恵と技術を現代のそれらと掛け合わせることで後世に続く価値が生まれると信じています。それは、これまでに滞在した建築家が Fabrice にあるデジタル機器を使い、従来の木工技術では成し得なかったような斬新なデザインを産み出していることから明らかです。私自身日本人の DNA を持つ人間として、ここ飛騨市から、先人が生み出した価値を後世につながる価値に更新していくワクワクのプロセスを世界中に広げていきたいと思っています。

どうぞ今後ともご指導宜しくお願いします！





がんとはどんな病気でしょうか？

現在、がんは日本人の死因のトップとなっています。また、がんにかかる方も増えてきており、一生のうち二人に一人は何らかのがんにかかるといわれています。がんは私たちにとって身近な病気になってきました。

がんは一般に悪性腫瘍とも呼ばれますが、どのようなものでしょうか。

(悪性腫瘍の特徴)

①勝手にどんどん増殖

がん細胞は、ヒトの正常な新陳代謝のこととはお構いなしに自分勝手に増殖します。

②浸潤と転移

周囲に染み出るように広がる

(浸潤)と飛び火(転移)するよう
に新しいがんの病巣を作ります。

③栄養を横取り

がん細胞は、他の正常な細胞の栄養をどんどん奪っていき、ヒトの体が衰弱します。(悪液質)

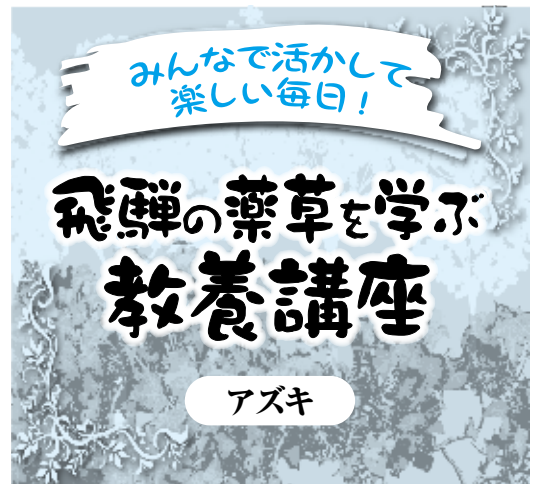
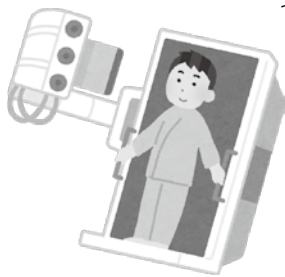
がんは、遺伝子が傷つき、異常な細胞が増殖することによって発症します。

また、一部のがんはウイルスの感染が発症に関係するものもありますが、がん自体は人から人につるものではありません。

がんの原因や治療方法の研究が進んできましたが、がんは「予防はできるけど、完全には防げない」病気ということもわかってきました。

がんは一般に、発症するまで長い年月がかかります。そのため、1年に1回のがん検診を受けることによって、早期のうちにみつければ、治療することが可能になってきました。

飛騨市のがん検診は5月から始まります。ぜひ、がん検診を受けましょう。



春は色々なお祝い事がありますね。

お祝いといえば赤飯。アズキの赤色が出て、いかにもおめでたいイメージです。しかし普通アズキと言えばアンコ餅の甘いイメージですね。ではなぜお祝い事にはオハギではなく、アズキの入った赤飯にゴマ塩など塩を振って食べるのでしょうか。

アズキには肝臓と腎臓を強化する働きがあります。しかし砂糖が入るとその効果が無くなってしまふのです。

逆に塩が入ると腎臓を活性化し、それについて肝臓も活性化します。でも蒸したアズキだけをひたすら食べることを想像してみてください。ポソポソしていて多くは食べられません。食べなければ健康になれません。という訳で塩味が合うお米が組み合わせられ、赤飯となったのです。

お祝い事はおめでたいのですが、色々と動いたりするので、その反動で体が知らず知らず疲れ、肝臓や腎臓が弱ってきます。それを治すために体にいい赤飯を作って食べ、自身

が健康になるだけでなく、親しい方にも健康になれるようにと配るようになったのです。アズキを煎じて飲む、またはアズキを食べると、肝臓の強化、利尿、糖尿病、二日酔い、産婦の乳汁不足、老人の便秘、食中毒にも効果があります。利尿効果は特に強いものがあります。ところが、アズキの茎葉の方をすり潰すか、煎じてコップ一杯飲むと、夜尿症、頻尿等に有効な働きを示すのです。同じ植物でも茎葉とタネでは反対の働きをするものがあります。アズキもそうですので間違えないように気をつけましょう。

また、アズキの花は二日酔いなどお酒に効果があります。おなじみの葛の花のように花部を採取して乾燥粉末にし、朝夕茶さじ1杯ずつ飲むか、飲み会前に飲みましょう。

こうやって見ると、赤飯が体にとっても良いものであることがわかりますね。面倒だからと省略してしまふのはもったいない素晴らしい食文化です。家族の健康のため、ぜひ続けていきましょう。



(村上光太郎「薬草を食べる」より)



飛騨市ホームページでもお知らせしています

飛騨市ホームページ <http://www.city.hida.gifu.jp/>

携帯サイト <http://www.city.hida.gifu.jp/mobile/>



3月31日現在(敬称略)

ご結婚

お名前

住所

加藤 優併
安井 由佳

古川町末真
下呂市

小椋 一紀
中谷奈葉恵

神岡町船津(宝町)
恵那市

直井 宣和
船坂 知里

古川町殿町
古川町下気多

渡邊 貴仁
田中 千里

養老町
古川町上町

結城真由子
木村 充貴

神岡町殿(殿上)
山形県
神岡町坂富町(坂富2(中))

安江 彩
曾我 俊彦

神岡町坂富町(坂富2(中))
高山市
古川町増島町

尾上紗季子

古川町増島町

お誕生

お名前

住所

保護者

〔古川町〕
平野 莉子

大野町

高明・仁美

金田 晴太
橋場 令和

是重
東町

巨太・由香
省吾・和歌子

〔神岡町〕
数井 七登

船津(西ヶ丘)
山田(下山田4)

悠司・憲花
有岐・朋子

梶野 千遥
梶野 太桜

江馬町(江馬4)
朝浦(藤橋2)

淳司・由莉佳
雄一・郁美

田近 雪太

朝浦(藤橋2)

雄一・郁美

お悔み

お名前

住所

年齢

〔古川町〕
岩腰 正和

高野

(63)

松田 スマ
後藤 みさ

式之町
殿町

(97)

前田 照夫

黒内

(88)

ご寄付

次の方々から温かいご寄付をいただきました。

〔学校教育へ〕

エコステーションたかはし

古川店利用者一同 様 (古川町)

四万六千二百五十八円

〔株式会社〕

〔株〕駿河屋魚一 様 (高山市)

金一万円

〔株〕高橋商店 様 (高山市)

金一万円

〔福祉事業へ〕

野道 隆信 様 (神岡町)

金五万円

〔飛騨市民病院へ〕

古田 良造 様 (神岡町)

氏名のみ掲載

〔老人保健施設たかはらへ〕
匿名 様 (神岡町)

介護スプーン一式

〔東日本大震災義援金〕(3月1日～3月31日)

※受付順

ジャンボあらかき古川店 様 (古川町)

金 一万五千八百七十円

〔平成二十八年新潟県糸魚川市大規模火災義援金〕

※受付順

上田 明夫 様 (神岡町)

金 五千円

〔ふるさと応援寄付金〕(2月1日～2月28日)

菅原 梓 様 (愛知県)

金一万円

前田 真一 様 (大阪府)

金一万円

谷倉 道隆 様 (千葉県)

金二万円

深谷 修 様 (岐阜県)

金二万円

清水 達史 様 (東京都)

金二万円

中川 一儀 様 (福井県)

金三万円

石谷 壮 様 (愛知県)

金二万円

中坪 智也 様 (埼玉県)

金十万円

粕谷 進也 様 (東京都)

金三万円

八木 智也 様 (東京都)

金五万円

岩原 秋信 様 (栃木県)

金一万円

山口 裕之 様 (神奈川県)

金三万円

岩瀬 亮太 様 (東京都)

金一万円

上杉 利洋 様 (東京都)

金一万円

平岡 秋人 様 (東京都)

金一万円

横山 佳子 様 (長野県)

金一万円

李 紅洋 様 (東京都)

金十万円

交通安全俳句

蝶のよう はばたかないで 子の手とる

飛騨神岡高校卒業生 岩野 瑞萌さん

〔解釈〕

子どもはお母さんと歩くのが嬉しいですね。嬉し
さで飛び跳ねてしまつたのですね。お母さん、お子さ
んと道路を歩くときは、お子さんの手を取って、思
いがけない行動に備えてください。

飛騨警察署交通課長



～飛騨から世界を望み、地域社会の持続可能な発展に貢献する～

岐阜県立吉城高等学校

お問い合わせ
岐阜県立吉城高等学校
Tel.0577-73-4555

飛騨から世界を望み、持続可能な地域の発展に貢献する

岐阜県立吉城高等学校

平成29年度の挑戦!



平成28年度の吉城高校の約束(「広報ひだ(6月号)」掲載)

- ①地域の催事や伝統行事に生徒、教員が積極的に参加、協力します。
- ②飛騨市や教育委員会、小中学校、特別支援学校その他関係機関と連携し、地域の発展に貢献します。
- ③東京大学、東北大学等の研究機関と連携し、理数科教育の質を高めます。
- ④地域連携の活動を踏まえ、ユネスコが進める持続可能な社会の担い手を育む「ユネスコスクール」への加盟申請を行います。



①古川祭、藤まつり、きつね火祭、ぼんぼり夢街道等、地域のイベントにスタッフとして参加。



②吉高生が先生になって、小中学生の学習サポートや、サイエンス教室を開催。



③飛騨市と東大との連携協力協定(1/22)により、吉高での東大教授の授業や院生による学習サポートが実現。



④吉高地域キラメキ(YCK)プロジェクトを柱にユネスコスクールに加盟申請しました(12/7)。

平成29年度、生徒の進路目標の実現のために以下の改革に取り組みます!

- ①生徒一人一人の進路目標の実現のために、学科やコースの見直し含め検討します。※
 - ・国公立大学や難関私立大学進学を支援するカリキュラムや少人数指導の充実
 - ・公務員及び就職希望者を支援するインターンシップや個別指導の充実
 - ・看護や医療福祉系の大学や専門学校への進学希望者を支援する科目選択の充実
 - ・吉高地域キラメキ(YCK)プロジェクトの成果を進路実現に生かすしくみづくり

※吉城高校「活力ある高校づくり協議会」を立ち上げ、地域の要望を反映します。
- ②快適に学べる安全安心な教育環境を整備します。
 - ・生徒・保護者へのメール配信によるいじめ迷惑調査、ネットパトロールの随時実施(H29)
 - ・トイレの洋式化(H29～31)・授業用視聴覚機器の充実(H29～30)
 - ・情報室PCの最新化(H29～)・進路室の生徒用PC充実(H29～)
- ③地域との連携により、高校と地域の活性化を図ります。
 - ・吉城高校文化祭(柏葉祭)を一般公開します。(9月3日(日)、4日(月)予定)
 - ・吉城高校同窓会による創立70周年記念事業(平成30年度)を企画します。



広 飛騨の森の未来へ 広葉樹の活用方法を学ぶ

3月20日（月） 総合会館

飛騨市広葉樹のまちづくりシンポジウム実行委員会は3月20日、「飛騨の森と生きる。その未来へ。飛騨市広葉樹のまちづくりシンポジウム」を古川町公民館で開きました。

このシンポジウムは、飛騨市が誇る豊かな広葉樹の森を持続可能な資源としてまちづくりに活用し、広葉樹のまちづくりを推進しようといわれ、会場では広葉樹などを使った体験プログラムも行われました。

シンポジウムでは、NPO法人森は海の恋人理事長の畠山重篤さんによる基調講演や広葉樹に関する事例紹介、森とまちづくえいについて語る市民ワイワイ会議などが行われました。



ワイワイ会議の様子

下 魅力ある授業作りが評価される 嶋先生(神岡中)に文部科学大臣表彰

3月10日（金） 市長室

平成28年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞した神岡中学校の下嶋健児教諭が市長に報告を行いました。

この表彰は、学習指導や生徒指導、部活指導などにおいて、特に顕著な成果をあげた方に送られるものです。社会科を担当する下嶋教諭は各地で取材した資料などを使い、子ども達をひきつける授業を行っています。

下嶋教諭は「資料を使い子ども達の知的好奇心を引き出し、学び方や調べ方などを重点的に教えることで、学びを深め、自信や充実感につながるよう意識している。今後もさらに魅力ある授業作りに取り組みたい」と話していました。



賞状を手にする下嶋先生(左から2人目)

高 ドリコミュが飛騨神岡高校でも開催 高校生らが地域の大人と語り合う

3月21日（火） 神岡町ふれあいセンター

自身の経験や夢、目標などを語り合うドリコミュ（ドリームコミュニティ）が神岡町ふれあいセンターで開かれました。ドリコミュはメンタルコーチの関口祐太さんが昨年1月から毎月1回行っている取り組みで、2月には吉城高校でも開催されました。

今回は飛騨神岡高校生と地域の大人が語り合うワークショップ「カミコミュ」として、高校生や地域住民などが参加しました。会場では、参加者がこの1カ月の生活を振り返り、互いの目標や考えていることなど様々な思いを共有しました。また、次の1カ月どう過ごすかを考え、参加者で共有しました。



笑顔で語り合う参加者

特 さらにPRにつなげる 特産品に10商品が認定

3月10日（金） 市役所

飛騨市推奨特産品認定証交付式が市役所で行われ、味噌、煎餅や日本酒など市内事業者の10商品が認定されました。

「飛騨市推奨特産品」認定制度は、市内の特産品をより広くPRするため今年度創設された制度です。認定された商品は組木をイメージしたロゴシールを貼り付けし、差別化を図っていきます。また、各地で行われる市の販売プロモーションに出品する予定です。

審査委員長を務めた岐阜県名産販売(株)の加藤徹社長は「それぞれにこだわりや特長があり、素晴らしい商品ばかりだった。今日を第一歩として今後も頑張っていきたい」と話していました。



認定証が交付された事業者の皆さん



美 喜びを市長に報告 ら地球が県内初の受賞

3月28日（火） 市長室

（株）美ら地球が「はばたく中小企業・小規模事業者 300社」を受賞したことを受け、市長に報告を行いました。

この賞は中小企業庁が選出し、地域貢献や地域経済の活性化、独自の技術やサービスで伸びる取り組みを行うなど様々な分野で活躍する中小企業・小規模事業者に送られるものです。サービス企業として、県内初の受賞となります。

同社代表取締役の山田拓さんは「里山エクスペリエンスなどのサービスだけでなく、企業として評価を受けたことが嬉しい。地域の皆さんに感謝し、今後のサービスにつながれば」と話していました。



賞状などを手にする同社の社員ら

木 木育の推進を目指す 育ひろばが常設

3月24日（金） 古川子育て支援センター

木にふれあい、親しみ、関心を持ち、学んでいくことのできる場所として、県産材を活用した木のおもちゃを設置した木育ひろばが古川子育て支援センターに設置されました。

3月24日には開設式が行われ、子ども達による除幕式が行われた後、訪れた親子は8種類の木のおもちゃで思い思いに遊び、木の温もりにふれました。

市民児童課の野村賢一課長は「広葉樹のまちづくりを進める飛騨市や岐阜県ならではの取り組み。末永く皆さんに愛される広場になってほしい」と話していました。



木のおもちゃで遊ぶ親子ら

長 森田コヨさん100歳長寿者褒賞 寿をお祝い

3月28日（火） 古川町

古川町上気多の森田コヨさんが100歳を迎えられました。都竹市長が「100歳おめでとうございます。森田さんのお元氣な姿を見るとこちらも元氣になります。これからも楽しみながら長生きしてください」と声をかけながらお祝いと花束を渡しました。

森田さんは草むしりをしたり、散歩をしたりと毎日元気に過ごされています。森田さんは「好き嫌いが無く、特に魚が大好き。健康の秘訣はおおらかでいること」と話していました。



神 地域経済の更なる発展へ 岡商工会議所が移転し開設

3月24日（金） 神岡町

神岡商工会議所が旧神岡町図書館に移転し改修工事が完了したことを受け、新会館のお披露目や祝賀会が行われました。

祝賀会では、牛丸欣吾会頭や都竹市長らがテープカットを行い工事完了を祝いました。

牛丸会頭は「独立した場所を持たれたことを嬉しく思う。皆さんとともに、今後何十年も続く会議所を目指していきたい」とあいさつしました。

都竹市長は「神岡経済界の城ができあがった。ここを拠点として、集い、経済や産業が発展することを期待しています」を言葉と贈りました。



テープカットを行う関係者



3万円以上の寄付でもらえる
1 point Coffee drip stand 胡桃材&真鍮製のスタンド



別商品の木組みのパズルも人気です



2杯用の商品もラインナップ



ふるさと応援寄付金
至高の一品

第12回 飛騨職人生活

古川町栄一丁目1番54号

TEL 0577-73-7703



堅田 恒季さん

このコーナーでは「ふるさと納税（ふるさと応援寄付金）」のお礼の品や店舗を紹介しします。就職、通学、結婚等で飛騨市外に在住の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

※飛騨市をPRする観点から特産品のお返しは市外に住民票のある方に限らせていただきます

※「楽天ふるさと納税」「ANAのふるさと納税」での寄付受付を開始いたしました

※詳しくはホームページをご確認ください

<http://www.city.hida.gifu.jp/>

飛騨市

検索



自然の素材ならではの温かみときめ細かい巧み技を活かした商品作りを続けています。飛騨産の木を使い、一つひとつ手作りしているのも、商品によって木目や色味が異なります。それも楽しんでいただければと思います。

栄町の店舗では、こうした商品の作製・展示・販売を行う「飛騨職人生活」と「Cafe's cafe」というカフェも営業しております。コーヒー豆の産地を重視し、その個性を最大限に引き出す淹れ方を追求しています。

また各種ワークショップを開催したり、イベントスペースとして店舗の貸し出しも行っております。お気軽にお立ち寄り下さい。

Cafe's cafe
営業時間 10時～18時
定休日 水曜日

人口の動き（4月1日現在 住民登録人口）

男	女	計	世帯数
12,052	12,923	24,975	8,914
出生 7	転入 119		
死亡 30	転出 218		

消防の状況（3月31日現在）

	火災	救急
飛騨市	1	282
その他（管外出動）	0	1
前月比	0	82

交通事故の状況（3月31日現在）

	人身交通事故 件数	死者	傷者	物損 交通事故
本年累計	5	1	8	199
去年同期	4	0	12	136
増減	1	1	-4	63